

平成24 年度（ 23 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 24 年 10 月 2 日

1 事務事業 の現状 (DOC)	事務事業名	No. 690125	中学校管理備品等整備事業				主管課名	教育行政課				
	この事務事業 の位置	政策	社会と次代を担う自立した人材の育成				課長名	近藤 政彦				
		施策	豊かな心と個性が輝くまち									
		基本事業	教育内容・活動の充実									
(1)事業の概要												
各学校からの希望をもとに学校教育に必要な備品を整備していきます。						(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)						
						名 称		単 位				
						購入した管理備品数		台				
						その指標						
(23年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		各校の備品購入希望を基に予算を配分し、その配分額の中で備品を購入する。										
24年度計画	前年と同様 変更あり	変更内容										
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)						(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)						
市内中学校						名 称		単 位				
						市内中学校		校				
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)						(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)						
学校に必要な備品を購入し教育環境を整備						名 称		単 位				
						備品が納品された環境整備校数		校				
(4)結果(上位基本事業の意図：基本事業にどのように貢献するか)						(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)						
安心して生活でき、進んで学習できる環境をつくとともに、規則正しく生活する健康な体力づくりを行う態度を育てる						名 称		単 位				
						教育基本計画における重点施策の達成率		%				
						体力テストの県平均を上回った種目の割合		%				
						身体測定の全国平均を上回った項目の割合		%				
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標	年度	単位	22年度実績値	23年度実績値	24年度計画値	25年度目標値	26年度目標値	27年度目標値				
(5)の活動指標		台	75	49	49	32	18	90				
(6)の対象指標		校	4	4	4	4	4	4				
(7)の成果指標		校	4	4	4	4	4	4				
(8)の結果の成果指標		%	100	100	100	100	100	100				
		%	75	75	75	75	75	75				
		%	30	30	30	30	30	30				
(10)予算費目		会計	01 一般会計				款	10	項	03	目	01
(11)コスト		年度	22年度実績値	23年度実績値	24年度計画値	25年度目標値	26年度目標値	27年度目標値				
事業費(決算又は予算額)		単位	7,328	4,906	1,803	1,700	1,700	1,700				
A	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0				
		県支出金	千円	0	0	0	0	0				
		地方債	千円	0	0	0	0	0				
		その他	千円	0	0	0	0	0				
		一般財源	千円	7,328	4,906	1,803	1,700	1,700	1,700			
人件費B		千円	1,844	1,879	1,879	1,879	1,879	1,879				
		時間×人	500 × 1	500 × 1	500 × 1	500 × 1	500 × 1	500 × 1				
その他費用C		千円	72									
トータルコストA+B+C		千円	9,244	6,785	3,682	3,579	3,579	3,579				
単位あたりコスト		千円/ 校	2,311	1,696	921	895	895	895				
(トータルコスト/(6)の対象指標)		千円/										
		千円/										

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	690125	中学校管理備品等整備事業		
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？		(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？			
	各学校設置（中部小学校は1873年設立）		から	教育委員会、議会から教育環境の充実を求める意見がある。 更新時期になる備品類について計画的に購入する必要がある。		
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？					
児童生徒の学習環境整備を図るため。						
(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？						
変化していない		変化し				
変化している		児童・生徒数の増加により、より多くの備品が必要となっている。				

3 評価（SEE）	目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務	→	根拠法令	
		自治事務	→	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する		
	(2)この事業の意図は結果（基本事業の意図）に結びつきますか？	結びつく		理由		
		結びつかない	→			
	(3)対象を見直すこと（対象の拡大又は縮小）はできませんか？	できる	→	内容		
		できない	→			
	(4)意図を見直すこと（意図の追加・拡充（意図の段階は正しいか）又は絞込み）はできませんか？	できる	→	内容		
		できない	→			
	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい	→	理由 又は 内容		
		影響はない				
(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる	→	理由 又は 内容		現状でおおむね成果を満たしている	
	できない					
(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	ある	→	類似事業との再編の可能性	ある	内容	
	ない	→				ない
(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？（仕様や工法の変更、住民の協力など）	ある	→	内容			
	ない					
(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？（従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？）	ある	→	内容			
	ない					
(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある	→	内容			
	ない	→				

4 改革改善案（PLAN）	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
		コストの方向性	維持	事業費の方向性	維持	成果の方向性	維持
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	更新時期があるものについては、おおむね更新時期に計画的な更新ができる様に調整をしながら計画していく必要がある。					